



希望

邑智小だより

3月15日
月曜日
発行所
美郷町立
邑智小学校

〇心に残る卒業式に向けて

ちょうど一年前、新型コロナウイルスが全国に広がりました。「いつ休校になってもおかしくない。」という不安な毎日を通りながら、マスクの着用や手洗いや換気の徹底をする日々でした。それでも、6年生(現在の中一)は卒業式までの日々を一日一日大切にしながら、学校生活を送っていたことを思い出します。

今年度当初、臨時休校や分散登校措置をせざるをえない事態になりました。通常登校になっても、「コロナウイルスの対応をしながら」ということをいつも枕詞にしながら、授業や行事を行う日々が現在まで続いています。規模を縮小しなければならぬことも数多くありましたが、学校の中に目を傾けると、元気な子ども達の声が絶えることなく聞こえてきていました。

今年度もあと十日で終わりになります。当今年度に学ぶ内容をすべて終え、現在、どの学年も復習を行っています。
19日は、いよいよ卒業式を迎えます。コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せない状況なので、今年度も参列する人数(来賓・在校生)を少なくするなど規模を縮小して行います。

在校生は、卒業生への感謝の気持ちを伝えようと、メッセージなどを各学級で作成しています。6年生には、「みんなの邑智小学校の卒業式は、一生に一度だけです。例年より参列者は少ないかもしれないが、心に残る卒業式を一緒に創ろう」と話しています。

6年生27名が、邑智小学校で学ぶのも残りわずか、卒業式までいよいよカウントダウンです。いよいよ旅立ちの日を迎えます。



◎今年度最後の読み語り(1年生)

図書ボランティアの方の今年度の読み語りも最後になりました。本の世界の楽しさをいつも感じることができました。

お礼の気持ちを込めたメッセージカードを学年のボランティアの方に渡しました。一年間本当にありがとうございました。



◎邑智中との交流(ひまわり・たんぽぽ)

お互いよく知っているのですが打ち合っていました。ダーツ等のゲームと一緒に楽しみ、大いに盛り上がっていました。

中学生よりクッキーのおもてなしがありました。この一年間を振り返って、それぞれの思い出を語り合いました。



◎できるようになったこと発表会(2年生)

2年生になってできるようになったことを全員が発表をしました。九九や漢字を覚えた、ピアノが上手にふけるようになったことなどを伝え合いました。

なわとびなどの体育の発表もありました。一人一人の発表が終わると、お互いのがんばりを認め合い、大きな拍手に包まれました。



◎おおちふるさと伝承館の見学(3年生)

社会科の学習で「おおちふるさと伝承館」に行きました。館長さんに昔の道具について説明してもらいました。

みの等、昔使われていた衣装や道具など、テレビでしか見たことのないものがありました。



◎石見銀山学習のまとめ(4年生)

3学期の総合の時間に石見銀山学習に行ってきました。教育委員会の岩谷さんに疑問に思ったことについて教えていただきました。

校区に銀山道があることが分かり、ふるさとのよさを改めて感じることができました。



◎6年生を送る会 大成功(5年生)

5年生が中心となって準備しました。6年生への感謝の気持ちを1学年ごとに体育館に集まって伝えました。

鼓笛の引継ぎ式もありました。この日のためにしっかり練習をして、6年生に素晴らしい演奏を披露しました。



◎卒業プロジェクトから（6年生）

下級生との思い出づくり
学年ごとに「ドッジボール」など一緒に活動する時間を持ちました。6年生の下級生に対するやさしさにあふれた、楽しい時間になりました。



校舎掃除ボランティア
校舎をきれいにする掃除ボランティアに2日に渡って取り組みました。普段なかなか掃除ができないところをきれいにしたり、いつも全校児童が使っているトイレなどの掃除を行ったりしました。学び舎に感謝の気持ちをもって卒業です。



◎学校関係者表評価委員会を開きました

学校関係者評価委員会を開き、今年度の学校評価を行いました。（総合所見より）

◎自己評価

- 新学習指導要領に対応した授業、ICTをより活用した授業等、研究授業を核に授業改善が計画的かつ継続的に行われた。児童の主体的・対話的で深い学びに繋がる取組の模索も継続している。今年度はコロナ対応による休業や行事の中止・縮小があり、試行錯誤の連続で職員の負担が大きかった。引き続き授業改善や家庭学習の充実を図っていきたい。
- 今年度も、丁寧かつ迅速なケース会議を開くことができた。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、特別支援学校、保育園等との連携、時には外部の方との連携も積極的にできた。
- ふるさと教育はコロナ禍であったが、可能な範囲で実施することができた。今年度始めた「山くじら」学習は地域と相互に魅力を感じられる活動となった。

◎学校関係者委員より

- コロナ禍で先行きが不透明な中、頑張って活動してもらったと考えている。
- 本会での評価を、邑智の子どもたちへのフィードバックが可能なものにしてもらいたい。それぞれの教育活動の評価と改善の積み重ねを大切にもらいたい。

◎学校関係者委員会を受けて

- 多くの参加者の方から「連携」というキーワードが出されていた。コロナ禍において、あらゆる関係者との連携が必須であると実感した。来年度以降、更なる連携を推進していく必要がある。

頂いたご意見を参考にしながら、来年度の邑智小学校の運営を行っていききたいと思います。

◎ちょっといい話



おかげで早く終わりました。ありがとう。

○先日の5・6校時に教室の机や椅子等を全て出して、大掃除を行いました。その後、ワックスがけを職員で行いました。翌朝のことです。登校してきた児童から教室に机や椅子を入れ始めています。教室の片付けが早く終わった5年生や6年生がまだ終わっていない低学年の教室の片付けを進んで手伝ってくれました。

朝から心が温かくなる出来事でした。

◎4月の行事予定

- 8日（木） 着任式、始業式、入学式準備
- 9日（金） 入学式
- 10日（土） ノーメディアの日
- 15日（月） 眼科検診
- 24日（土） 授業公開日、PTA総会等予定
- 26日（火） 内科検診
- 30日（木） 振替休業日予定



◎新年度は、4月9日（金）を入学式としています。新型コロナウイルス感染症の収束がまだまだ見通せない状況です。美郷町内の小中学校は、美郷町教育委員会との協議の上、令和3年度の入学式も規模を縮小して実施します。ご理解とご協力をお願いします。

邑智小学校の教育活動を一年間ご支援いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。
もうしばらくコロナ禍での活動が続きそうですが、「知恵と工夫と情熱」で来年度も取り組みます。